

事業改善会議用シート

対象事業	起業化支援事業補助金	委員名	委員
事業が抱えている課題	① 相談件数はあるが、応募までは至っていないこと。 ② 起業化に対する相談、助言の窓口がないこと。		
仕分け区分（方向性を○囲み）	委員の具体的なご意見等		
① 廃止	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用が困難と思えるので新たな制度を設けるべき。</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
② 現行維持	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請書を簡略化してほしい。</li> <li>・ この補助金があることを知らない人が多いのではないか。</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
③ 制度の抜本的な見直し	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新幹線開通により相談件数が増加するので窓口を商工会などで連携すべき。</li> <li>・ 函館市での指導のやり方を参考に。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
④ 改善	7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規性、創造性に重点を置いた募集要領にするよう再度検討、簡素化の方向で活発な応募を期待する。</li> <li>・ 制度の周知徹底を図る。</li> <li>・ 相談助言の窓口体制を明確にし、商工会との連携を強化。</li> <li>・ 概算払いの無い現制度は使いづらいので変更すべき。</li> <li>・ アドバイザーの配置が必要ではないか。</li> <li>・ 広報、インターネットで制度の周知を徹底する。</li> </ul>	

事業改善会議用シート

対象事業	南北市街地連絡バス運行事業補助金	委員名	委員
事業が抱えている課題	<p>① 事業開始から5年目となり、補助金支出の妥当性、市民評価の変化もあるのではないか。</p> <p>② 特定の区域では、利用者がせせらぎ号の運行と重複していること。</p> <p>③ 臨時的な停留所の設置に関する要望があること。</p> <p>④ 廃止とした場合には、中学生利用者への手当てが必要となる利用状況にあること。</p>		
仕分け区分（方向性を○囲み）	委員の具体的なご意見等		
① 廃止	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>		
② 現行維持	9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新幹線開業まで現行維持で運行し、毎年のPDCAの検証が必要。</li> <li>・ 学生、高齢者の足として必要である以上確保しなければならない。</li> <li>・ 北斗市の融和のためバス路線継続、新幹線開業まで必要。</li> <li>・ 住民サービス向上をめざし、現状維持。</li> <li>・ 利用者増加のための広報、運賃の見直し、定期券の検討。</li> <li>・ 事業が5年を経過し、再点検が必要だが、目的を達成しているとは思えない。</li> <li>・ 弱い立場の方へのサービスをなくしては困る。</li> </ul>	
③ 制度の抜本的な見直し	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃止は無理で、スクールバス化、循環バスとの二面性を考え見直すべき。</li> <li>・ 市のバスの利用方法を考えるべき。</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
④ 改善	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度のさらなる周知徹底を図る。</li> <li>・ 利用者数を増加させる方策を検討。</li> <li>・ 運行路線の見直し、弱者の利用しやすいように。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	